

おさとぼうしうり

エズフィール・スロボドキーナ 作・絵
まつおかきょうこ 訳



福音館書店 1970年 1100円

頭にぼうしをいくつも積み重ねて売る行商人がいました。ある日、大きな木の下で帽子を頭に乘せたまま昼寝をすると、目が覚めた時には帽子がなくなっていました。木の上を見ると、おさるたちが売り物の帽子をかぶっています。帽子を取り返そうとやっきになる帽子売りとおさるたちとのやりとりが面白く、意表をつく結末が用意されています。動きを抑えた絵は、話によく合って、のんびりとした独特の味を出しています。

おなら

長新太 作



福音館書店 1983年 838円

おならについて書かれた科学絵本です。どうしておならがでるのか、どのくらいおならはでるのか、くさいおならとくさくないおならの違いについてなど、ユーモアのある絵とわかりやすい文章で書かれています。本を開いてすぐ、タイトルがおならで吹き飛ばされていたり、最後の見返しの部分に、おならの音がずらっと書かれていたり、細かなところにも面白さがあります。

おばけリンゴ

ヤーノシュ 作
やがわすみこ 訳



福音館書店 1969年 1200円

ワルターのリンゴの木には、まだひとつも実がなかったことはありません。あるとき、彼が心を込めて祈ると、願いは叶い、とても大きな実がなりました。ところが、喜んだのも束の間、あまりに大きすぎて、市場に持って行っても誰も買ってくれません。そんなとき、国は恐ろしいリュウに脅かされ…。ワルターの素朴な人柄が、簡潔で美しい文章と、豊かな色彩と動きのある絵によって描かれています。